

木簡学会役員（一九九三・九四年度）

幹事長	狩野 久
副会長	早川 庄八
委員	綾村 宏
	鬼頭 清明
	館野 和己
	原 秀三郎
	山中 敏史
	笛山 晴生
	今津 勝紀
	清水 みき
	土橋 誠
森 公章	鈴木 謙周
	吉川 真司
	渡辺 晃宏
監事	石上 英一
	東野 治之
	平川 南
	吉田 孝
	八木 充
	和田 萍
	鷺森 浩幸
	寺崎 保広
	橋本 義則
	西山 良平
	渡辺 晃宏
幹事	町田 章
	鎌田 元一
	佐藤 宗諱
	永田 英正
	松下 正司
	和田 萍

編集後記

毎年のことだが、本誌を学会当日に間に合うよう刊行するのは、まさに綱渡り的な仕事である。本年もようやく先が見え、どうやら編集後記を書く段階になった。種々の御苦労をかけた奈文研史料調査室の方々、幹事の諸氏、それに編集実務にとくに尽力して下さった寺崎保広氏に謝意を表したい。

本号には、各地の発掘担当の方々の御協力のもと、例年どおり多くの出土情報を掲載できた。お忙しい中、時間をさいて御執筆下さった諸氏に対し、あつく御礼申し上げる。また加藤友康氏は、昨年の大会報告をもとに書き下ろされた力編を寄せて下さり、それに加えて田中淳一郎氏には、興味深い近世の資料を御紹介していただくことができた。総目次は寺崎氏の労になる。

本号は、頁数において前号を下回ることになったが、本誌の重点は、創刊以来、木簡の出土情報の提供にあり、編集体制が必ずしも十全とはいえない現状では、むしろ本号のウォリューム程度が妥当なところではなかろうかと思う。会員諸氏の御賢察をお願いするとともに、今後一層の御支援をお願いしたい。

(東野治之)